

シカるべき保険



A班:佐久間、酒井、諸伏、山田

新聞記事

北海道)レンタカーに鹿避け笛 衝突事故リスク減へ

車とエゾシカが衝突する交通事故がなかなか減らない。道警によると、道内でエゾシカが絡んだ事故は昨年1年間で2010件に上った。そこで、ニッポンレンタカー北海道(札幌市)は春の大型連休に向け、道内の全レンタカー約4400台に「鹿避け笛」の取り付けを進める。全国レンタカー協会によると、レンタカーに「鹿避け笛」を装着するのは全国で初めてという。

道警によると、道内でエゾシカが絡んだ交通事故は2004年に1170件だったが、その後増加。11年には2306件に達し、その後も年間1800~2千件ほどで推移している。昨年1年間の発生件数を振興局別にみると、釧路管内が422件で最多だった。道によると、エゾシカの14年度の推定生息数は48万頭。北海道開発局は、「シカ注意」の道路標示や侵入防止柵を設けるなどしているが、効果は限定的だ。

鹿避け笛は、車両前部の左右に一つずつ装着し、車が時速50キロを超えると風圧を利用して動物にしか聞こえない音が出る仕組み。車の走行を知らせることで、エゾシカの急な飛び出しを防ぐのに役立つという。道内のカー用品店などで市販されている。

同社では、エゾシカと車の事故が年間30件ほど発生。事故を起こした場合、レンタカー利用者は2万~5万円の事故負担金を支払うことになるという。同社は昨年4月から1年間、約350台にこの笛を試験導入。この期間のエゾシカとの事故は24件で、うち笛をつけていた車の事故は1件だった。

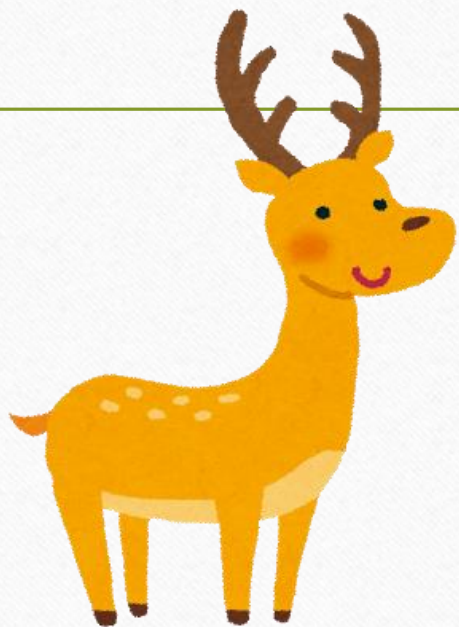
笛装着の車を借りても追加の負担はないという。同社販売促進部は「事故のリスクを減らして、少しでも安心して運転してほしい」と話す。道警交通企画課は「エゾシカとの事故は運転者が気をつけるしかないが、レンタカー会社などの取り組みが事故防止につながればいい」としている。

〈要旨〉

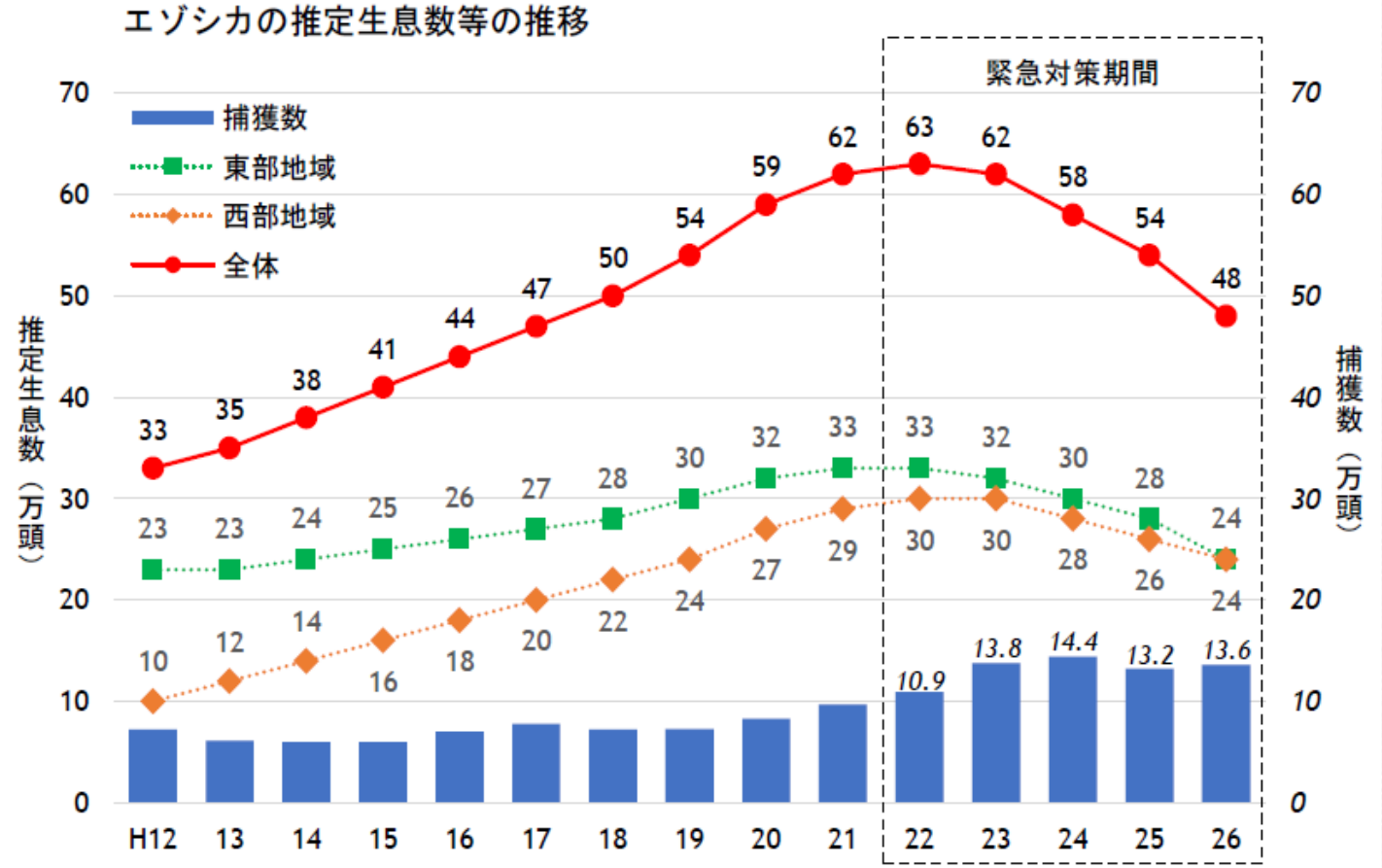
- 車とエゾシカが衝突する事故が多発（年間2010件(2015年)ほど）
- エゾシカの道内生息数は約48万頭
- 「シカ注意」の道路標示や侵入防止柵を設けるなどしているが、効果は限定的
- レンタカー会社の取り組みを事故防止に繋げたい



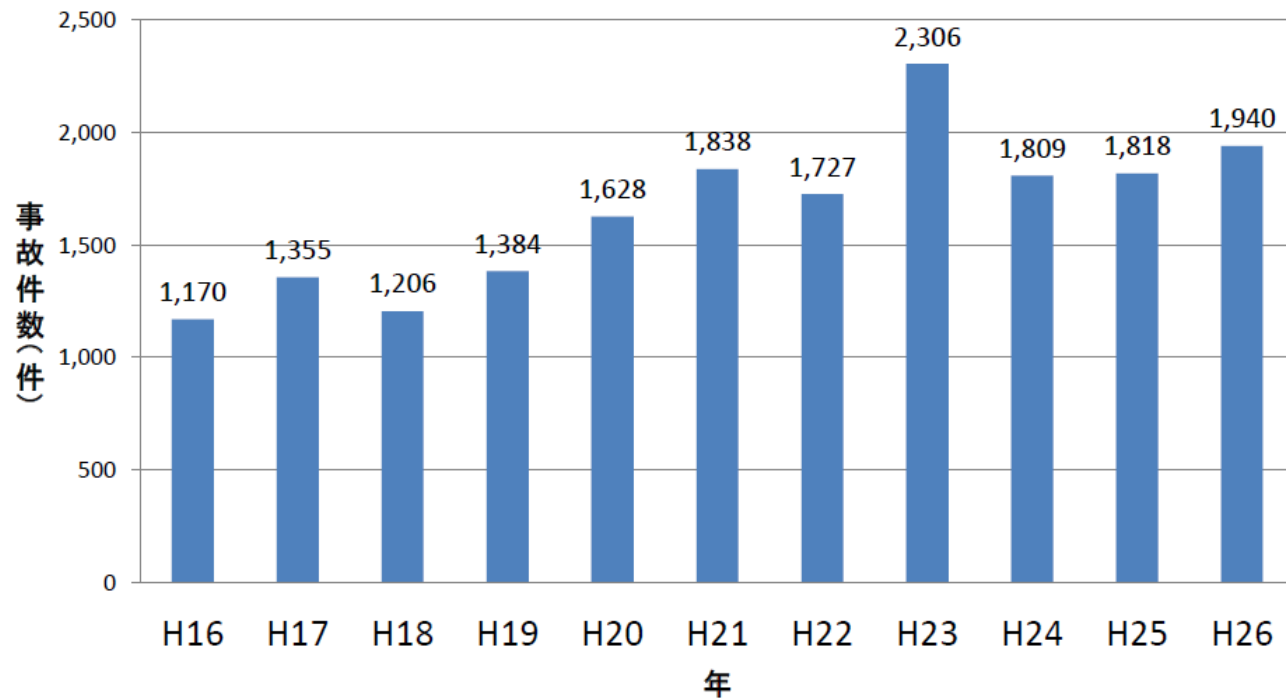
現狀分析



①エゾシカについて



エゾシカによる交通事故発生件数の推移(全道)



- エゾシカの生息地域・生態の変化
- 北海道内の道路事情に詳しくない観光客の増加



駆除を増やす必要あり

②レンタカーについて

このうち、北海道の
事業者数:696
車両数 :38665



レンタカー事業者数及び車両数の推移

国土交通省

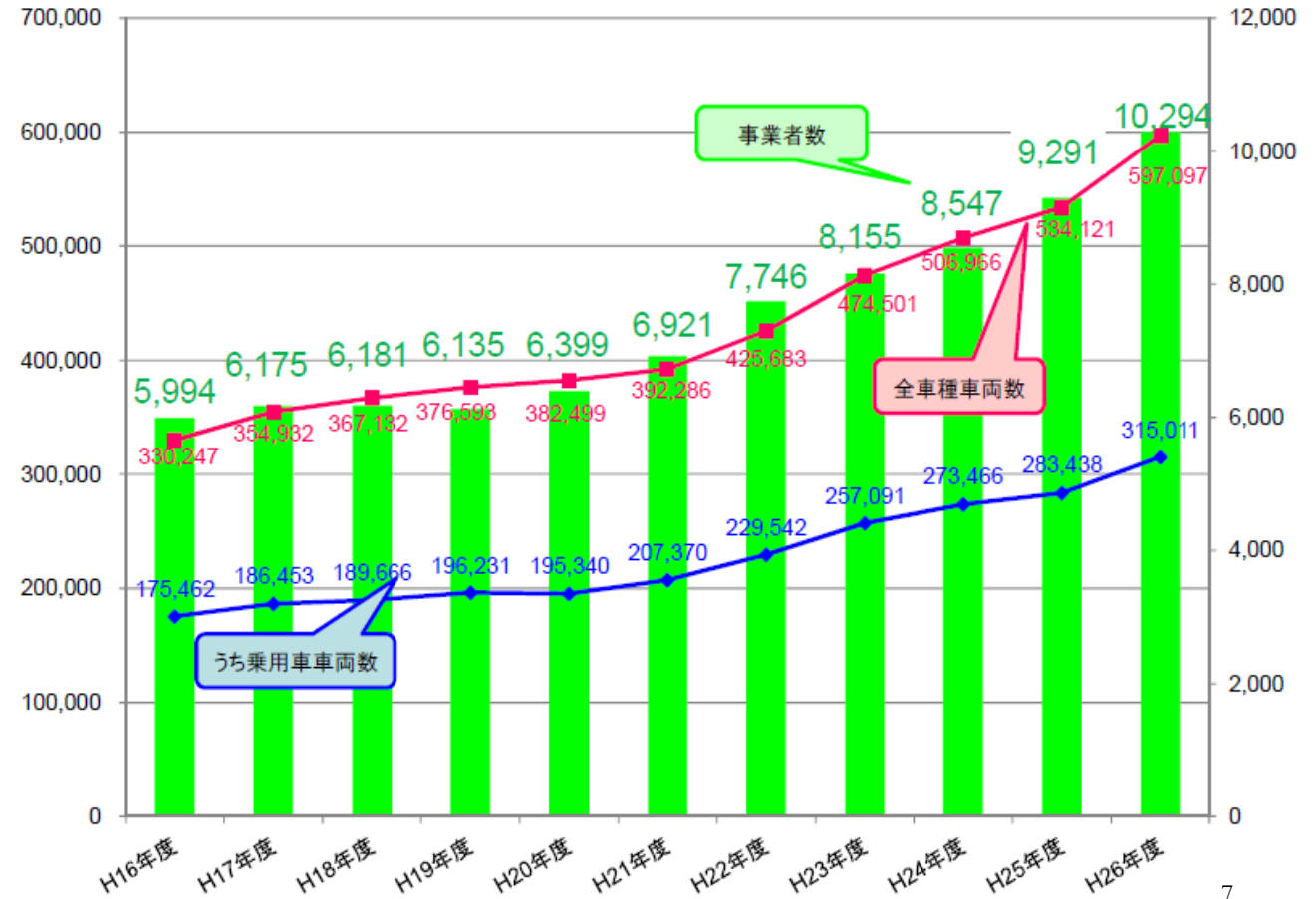
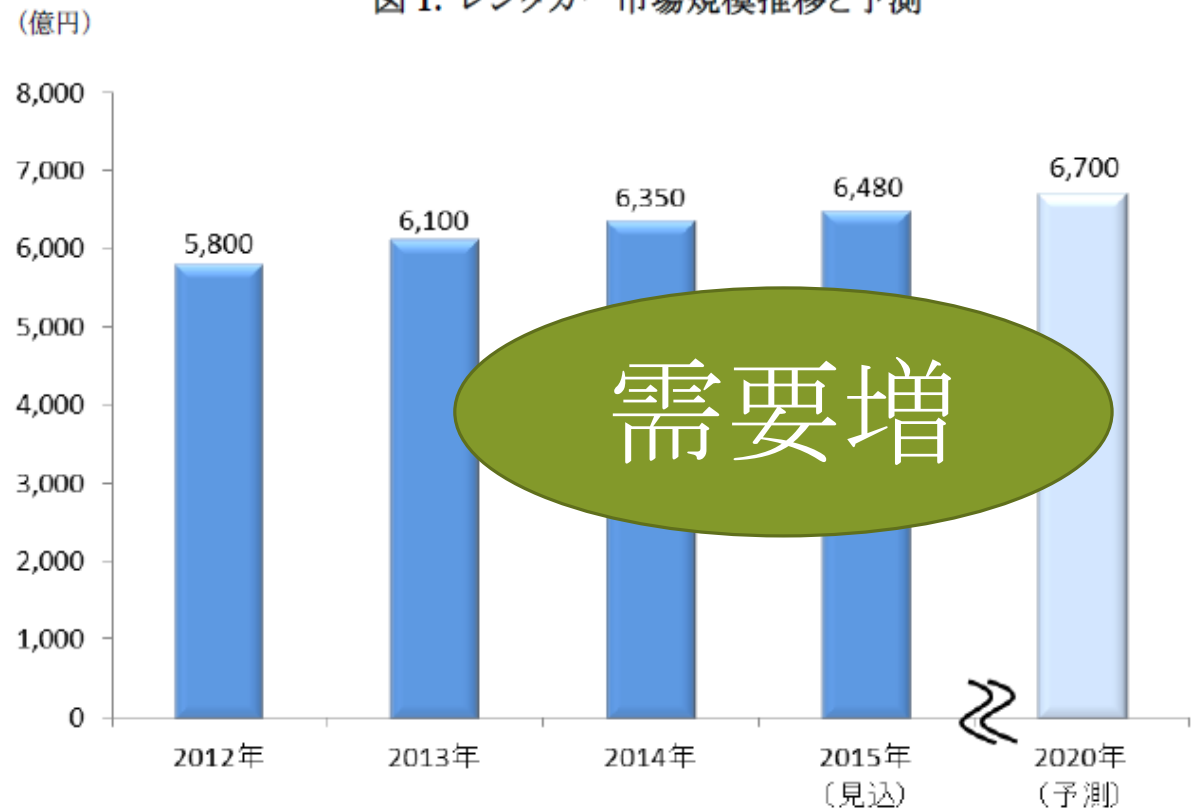


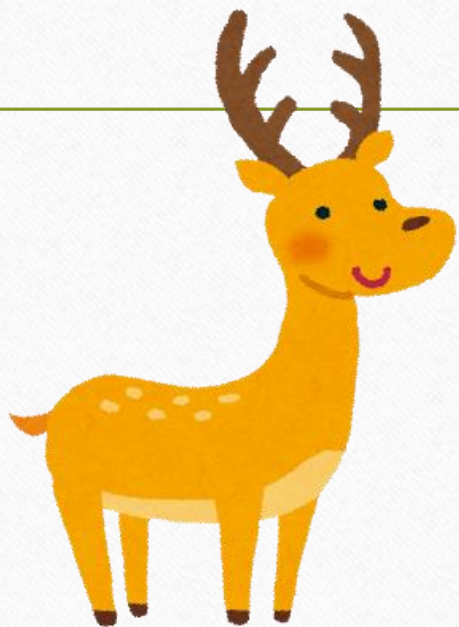
図1. レンタカー市場規模推移と予測



矢野経済研究所推計

レンタカー需要の増加
・・・外国人ドライブ観光客
の増加も一因

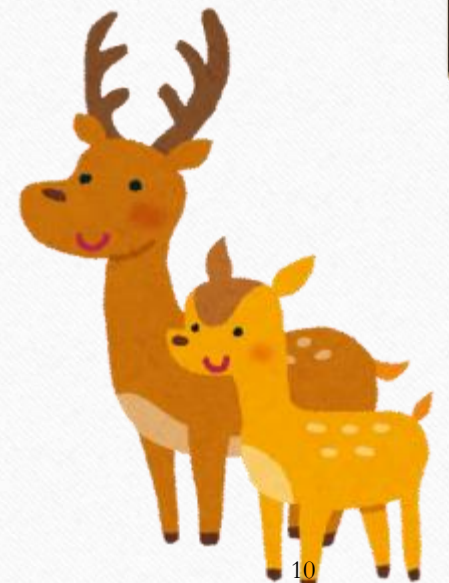
問題意識



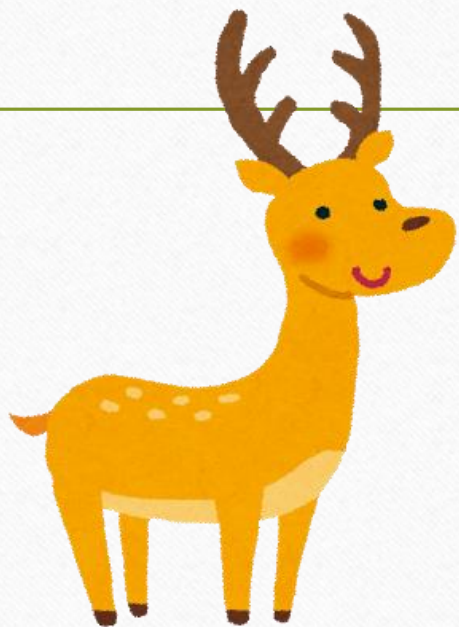
- シカは一定数捕獲されているものの
車との事故件数は減っていない

- ハンターの高齢化

何か新しい政策を
考案したい……



政策提言



シカとの事故は絶えない

旅行者の悩み

シカの捕獲を進めたい

農家の食害など

例: ヤギのうめえ～活用法

シカ保険



シカ保険とは...

1. オフショーン保険として存在
2. ハンオペレーションチャージ(NOC)を補償
3. 保険料は掛け捨てとし、それを**シカ対策**へ活用

NOC...レンタカーで事故が発生し、その車で営業できなくなった場合
利用者がレンタカー会社へ営業補償として支払う料金

※事故による対人・対物・車両補償は既に存在

通常の保険・・・24時間当たり1,000円

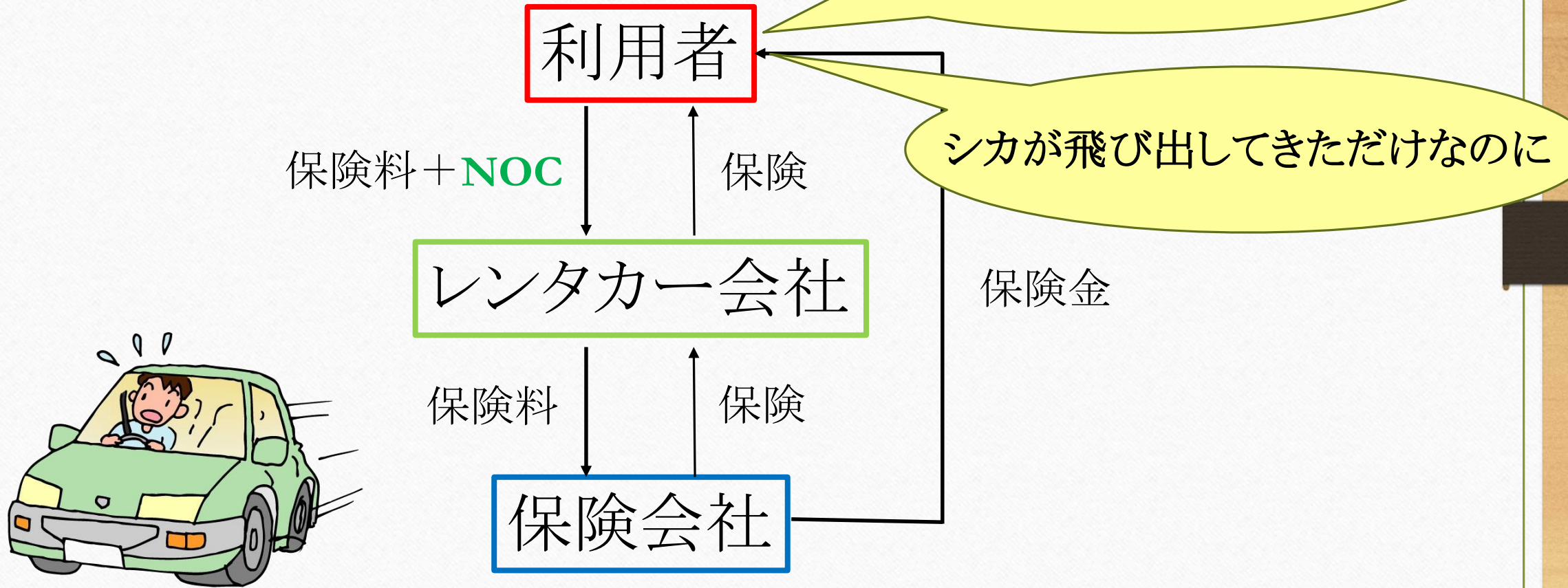
NOC・・・自走可能:20,000円

・・・自走不能:50,000円



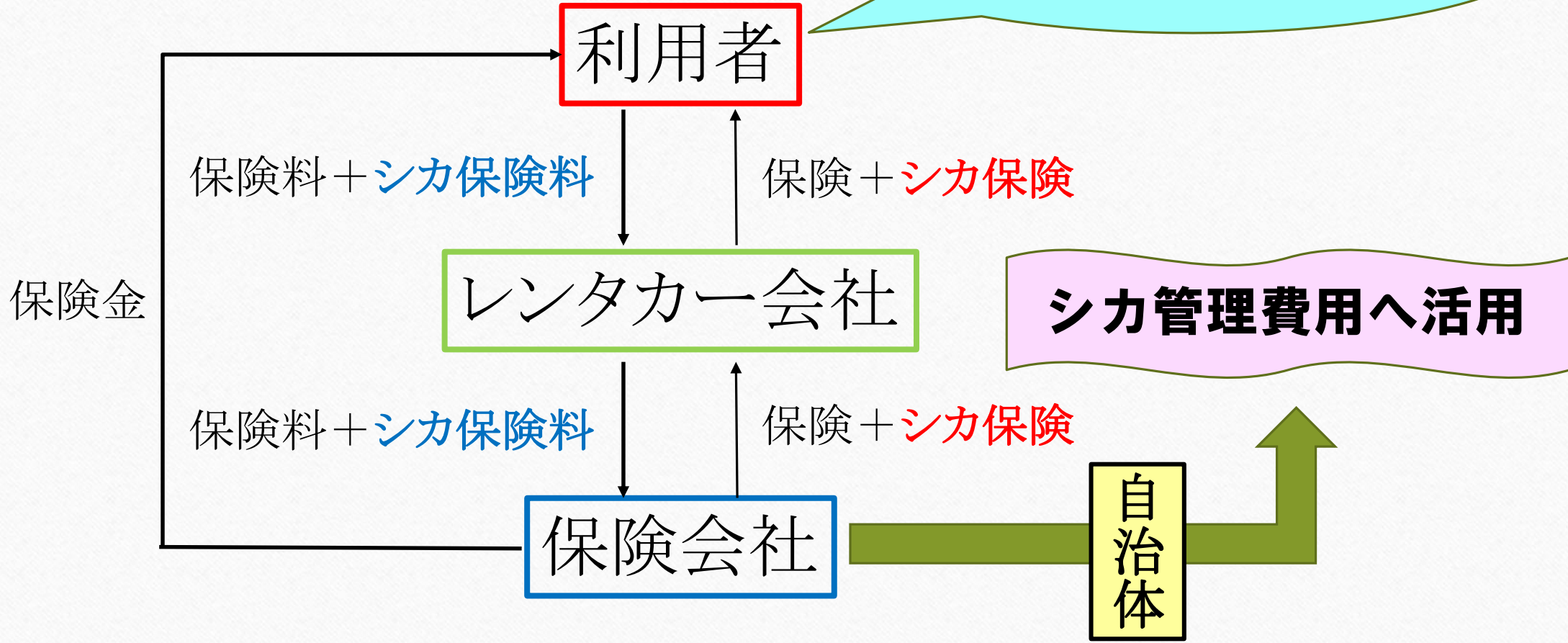
シカ保険・・・24時間当たり200円なら入ってくれる(?)

保険の構造～シカ保険なし～



保険の構造～シカ保険あり～

NOCを支払わなくて済む！



～シカ保険料の使い道～

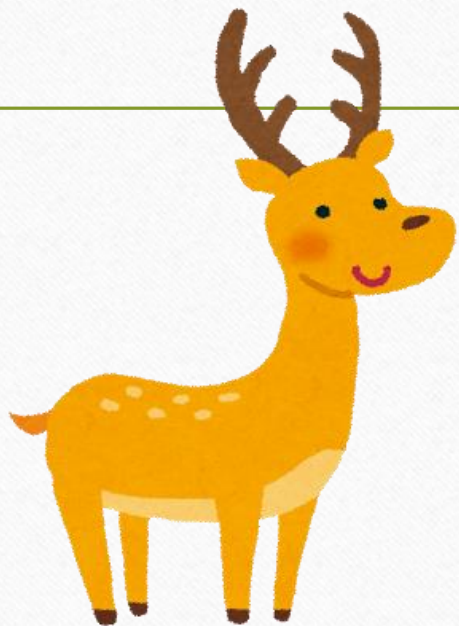
- シカ捕獲費用
- シカ対策ハード・ソフトの費用
- 食害対策費用 etc.

～シカ保険のデメリット・疑問点～

- 抜本的な対策ではない
- 躊躇なくシカを轢く可能性も...
- 法律的に大丈夫なのか



試算



シカ保険料:200円(1台につき1日あたり)

北海道内のレンタカー台数:40000台(稼働率を80%とする)

年間の北海道内におけるシカと自動車の事故件数:2000件

シカ1頭にかかる駆除費:25000円

保険会社またはレンタカー会社が収入の10%を手数料として受け取るとする

$$(\text{収入}) = \underline{40000} \times 0.8 \times 365 \times \underline{200} = 2\text{億}3360\text{万円}$$

1日に道内で利用される台数

保険料

$$(\text{費用}) = \underline{2000} \times 50000 = 1\text{億円}$$

年間の事故件数



事故時に本来支払われていたNOC

$$\begin{aligned}(\text{収益}) &= (\text{収入}) - (\text{費用}) \\ &= 2\text{億}3360\text{万} - 1\text{億} \\ &= 1\text{億}3360\text{万円}\end{aligned}$$

90%



10%

手数料として保険会社、レンタカー会社へ

$$1\text{億}3360\text{万} \times 0.9 = 1\text{億}2024\text{万円}$$

これをシカ駆除費にまわす！

$$1\text{億}2024\text{万} \div 25000 \div 4800\text{頭}$$

総駆除費

1頭当たりの駆除費

年間4800頭のシカが駆除できる！！

参考文献

- ・鈴木辰則(2013)『自動車保険読本』成文堂
- ・「平成 26年度エゾシカの推定生息数等について」
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/est/H26suiteiseisokusuu.pdf> (4月17日閲覧)
- ・「平成26年エゾシカが関係する交通事故発生状況」
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/est/ezosika-koutuujikoH26.pdf> (4月17日閲覧)
- ・「レンタカー事業者数及び車両数の推移」国土交通省
<http://www.mlit.go.jp/common/001126669.pdf> (4月17日閲覧)
- ・「レンタカー&カーシェアリング市場に関する調査結果 2015」矢野経済研究所
<http://www.yano.co.jp/press/pdf/1431.pdf> (4月17日閲覧)
- ・「こんな時どうする？野生動物との交通事故」ソニー損保
http://with.sonysonpo.co.jp/wisdom/auto/detail_161078.html (4月17日閲覧)

